

経営比較分析表（令和4年度決算）

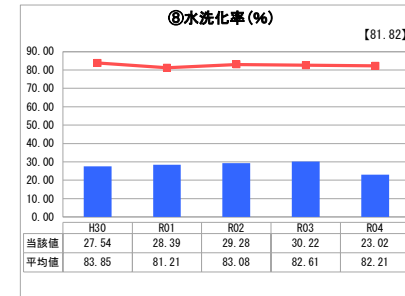
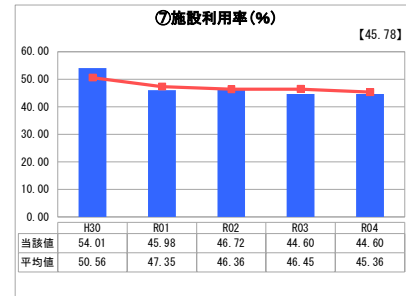
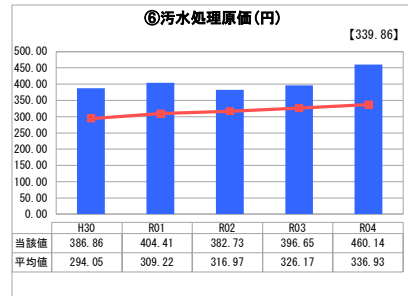
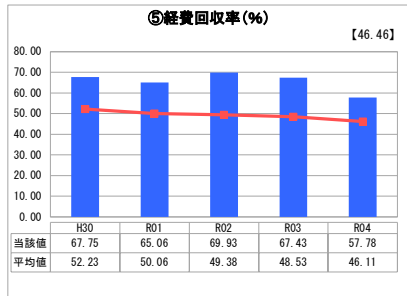
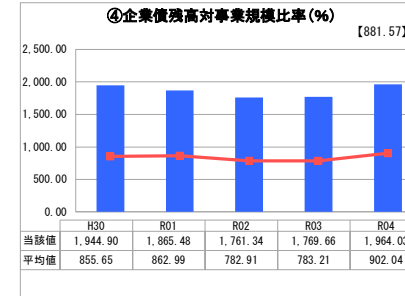
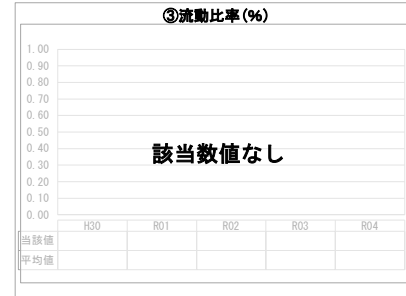
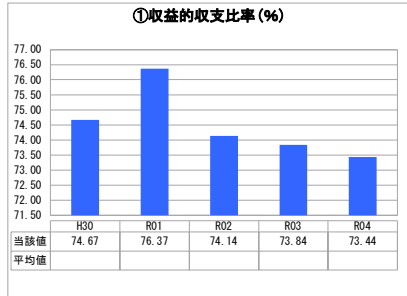
北海道 美幌市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.74	100.00	5,090

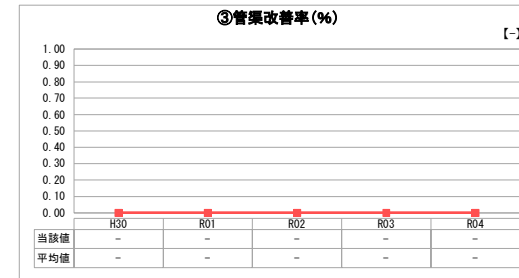
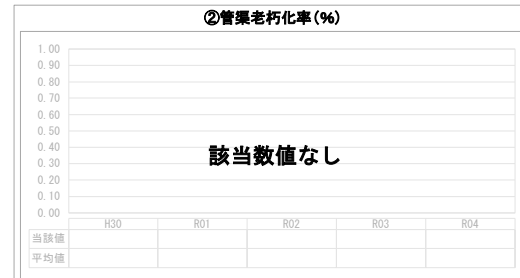
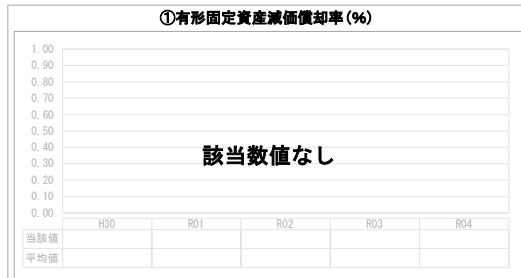
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,500	277.69	70.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,009	265.67	15.09

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

美幌市の個別排水処理施設の、「①収益的収支比率」が100%未達であるため、不足分は一般会計からの繰入金で賄われています。

「⑤経費回収率」は、類似団体平均値よりも高くなっていますが、これは、資本費への投資が低い状況で、公共下水道と同じ料金体系に設定していることや、使用料が減少傾向にあるためです。この状況でも、「④企業債残高対事業規模比率」は、類似団体よりも高い状況にあります。

また、「⑥汚水処理原価」は汚水処理費の増加並に有収水量の減少により、高く推移しています。

「⑦施設利用率」は前年度と同等の水準となっています。

「⑧水洗化率」については、23.02%と類似団体よりも低くなっており、今後の経営改善に向け料金改定等についても検討を行っていく予定です。

2. 老朽化の状況について

分析数値なし。

全体総括

美幌市の個別排水処理施設整備事業は、平成13年から供用を開始し、令和4年度末で385世帯の普及となっています。近年は急速な人口減により収益率の減少や汚水処理原価の高騰が見られていることから、個別排水処理施設整備の見直しを図り、適正な水準に移行する必要があります。

また、経営の健全性を確保するとともに、経営基盤の強化と適切な資産管理を図るため、令和5年度から、地方公営企業法を適用しています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。